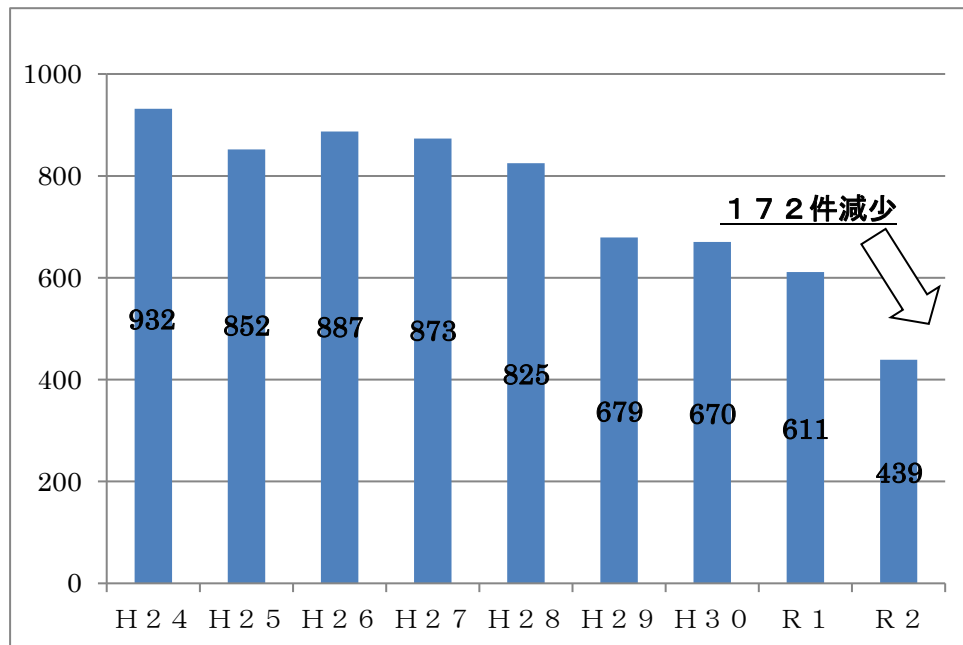


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（令和2年度）

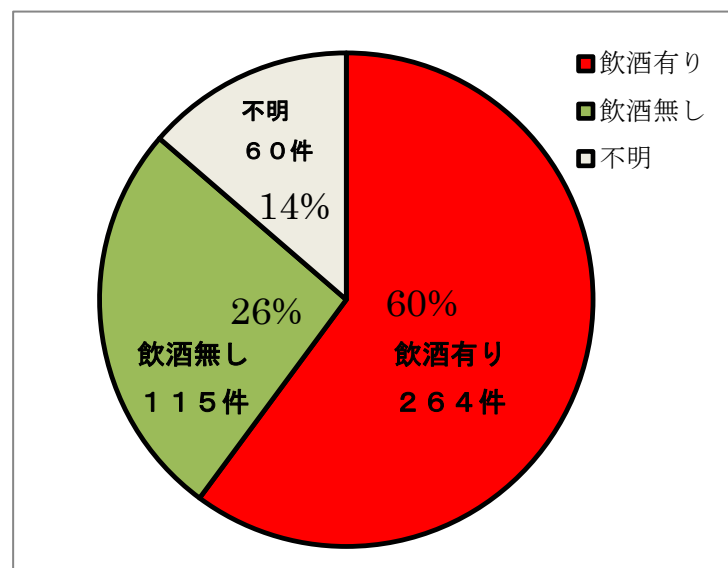
○令和2年度 全国鉄道軌道事業者 計 439件



○加害者の飲酒の有無

半数以上の加害者が飲酒有り

※飲酒が判別できないものは不明（14%）に含む

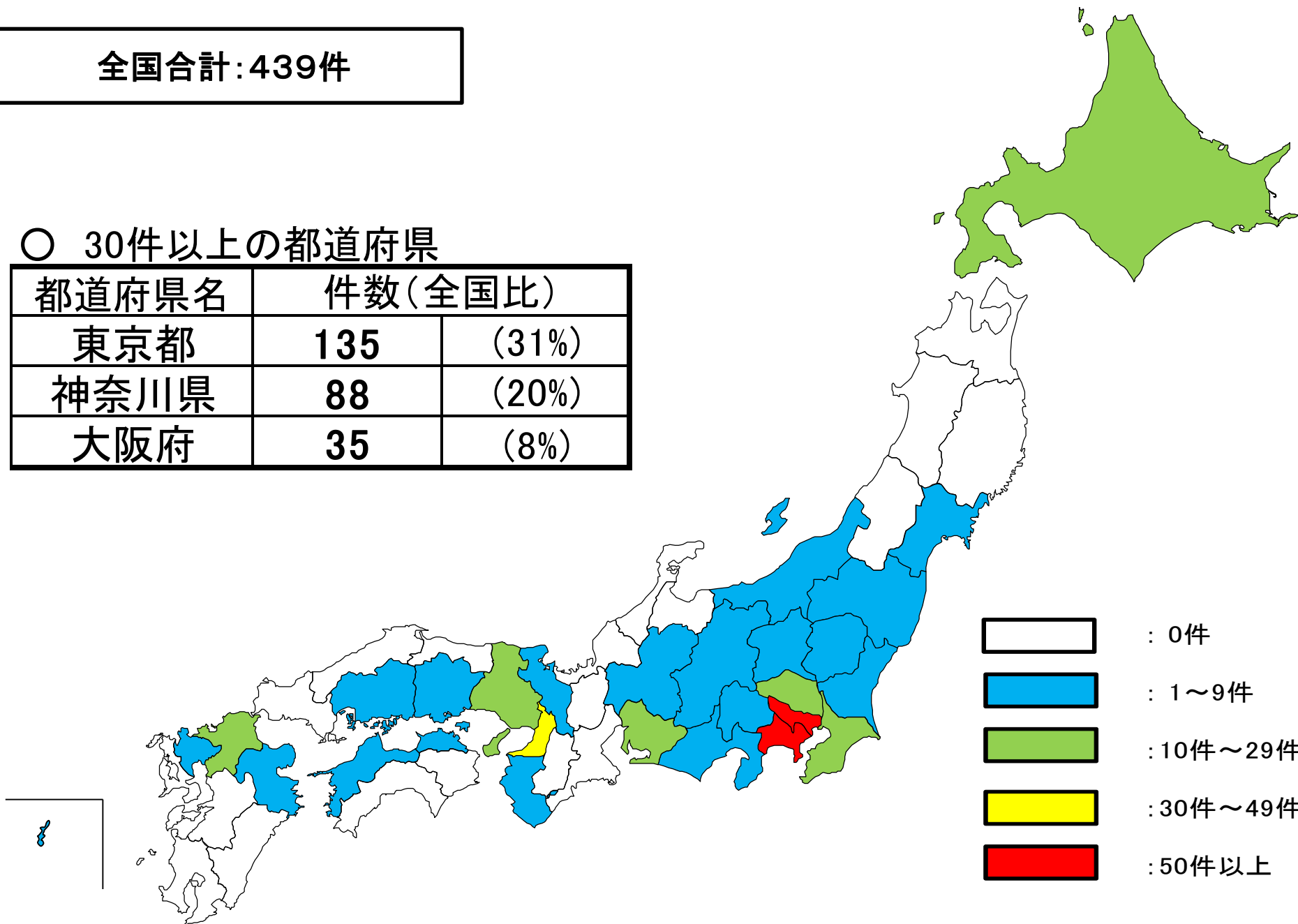


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況(都道府県別・令和2年度)

全国合計:439件

○ 30件以上の都道府県

都道府県名	件数(全国比)	
東京都	135	(31%)
神奈川県	88	(20%)
大阪府	35	(8%)



鉄道係員に対する暴力行為の発生状況
(都道府県別:令和2年度)

都道府県名	件数	
北海道	14	(6)
青森県	0	(0)
岩手県	0	(0)
宮城県	6	(5)
秋田県	0	(0)
山形県	0	(0)
福島県	4	(0)
茨城県	1	(1)
栃木県	2	(2)
群馬県	4	(2)
埼玉県	29	(18)
千葉県	21	(13)
東京都	135	(107)
神奈川県	88	(49)
新潟県	1	(1)
富山県	0	(0)
石川県	0	(0)
福井県	0	(0)
山梨県	1	(1)
長野県	3	(0)
岐阜県	4	(3)
静岡県	8	(5)
愛知県	20	(13)
三重県	0	(0)

都道府県名	件数	
滋賀県	0	(0)
京都府	8	(4)
大阪府	35	(17)
兵庫県	26	(12)
奈良県	0	(0)
和歌山県	1	(1)
鳥取県	0	(0)
島根県	0	(0)
岡山県	1	(1)
広島県	1	(0)
山口県	0	(0)
徳島県	0	(0)
香川県	1	(0)
愛媛県	1	(0)
高知県	0	(0)
福岡県	14	(4)
佐賀県	1	(0)
長崎県	0	(0)
熊本県	0	(0)
大分県	1	(0)
宮崎県	0	(0)
鹿児島県	0	(0)
沖縄県	1	(0)
全国合計	439	(267)

※ 暴力行為の発生件数は、唾かけ行為なども含めて幅広く集計しており、このうち、()内は警察へ届け出た件数である。

※ 全国合計の件数には、列車内で発生し都道府県別の計上ができない7件(うち、警察届出件数2件)を含むため、合計が合わない。